

# 岳南會 ニュース

第34号

発行  
令和6年1月1日  
長野県野沢北高等学校  
岳南會  
TEL 0267(62)0020  
TEL 070(4306)5364  
印刷 (株)佐久印刷所



高原の佐久

田原実夫 (60回)



岳南會会長  
吉岡 徹  
(57回)

明けましておめでとございます  
会員の皆様におかれましては、恙なく  
新春をお迎えになられたこと存じます。  
コロナ禍も四年目になりようやく収ま  
りつつあるとはいえ、まだまだ用心が欠  
かせない状況が続いております。  
この間、母校はその修学形態、各種行  
事等々学校運営にまさに未曾有の制約が  
かかり、様々な変容とその克服を迫られ  
続けてきたと聞き及んでおります。こう  
した状況の中、校長の柳澤先生以下教職



学校長  
柳沢 敬

新年のご挨拶  
岳南会の皆様におかれましては輝かし  
い新年をお迎えのことお慶び申し上げ  
ます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の  
五類移行を受け、日輪祭や修学旅行をは  
じめとする様々な学校行事も従来に近い  
形で行うことができました。また、卒業  
三十周年（第八九回）、五十周年（第六  
九回）の大同窓会も盛大に開催され、現  
役の生徒に絶大なご支援を賜りました。  
ここに改めて御礼申し上げます。  
本校は今年度、長野県の「未来の学校

員の皆さんの生徒達への強い思いを核と  
した取り組みによって、学習指導を始め  
確かな学校運営がなされてきたこと、並  
びに困難にめげず頑張り通した生徒諸君  
の努力により、例年と遜色ない進学実績  
をあげてこられたことに對し、同窓会と  
して深甚なる敬意と感謝の意を表したい  
と思っております。本当によくやってくださ  
いました。ありがとうございます。

さて、私たちが直面している最大の課  
題である母校と南高との再編による佐久  
地域普通科新高等学校（以下「新校」と  
いいます）の創設についてです。  
令和十一年開校予定の新校の建設場所  
（校地）につきましては、県教委と一年  
余にわたる協議の曲折を経て、ご承知の  
とおり母校・野沢北高校の現在地とする  
ことに決まりました。いよいよ新校の形  
作りが本格化します。設計建設委託業者  
も決まり、本ニュースがお手元に届く頃  
には新校の具体像をめぐるワークショップ  
も開催されていることと思います。新  
校設立への数多くの課題に佐久地域全体  
で対処すべく、柳田佐久市長を会長とし  
る「佐久新校創設推進協議会」も活動し  
ています。（詳細は10ページの篠原副会  
長・再編検討委員会委員長の報告をお読  
みください）

本件に関する皆様のご意見ご要望は大  
歓迎です。どうぞお寄せください。一緒  
に考えていきたいと思います。

構築事業」卓越した探究的な学びを推進  
する学校（スーパー探究校）の指定四年  
目を迎えました。現在の重点は生徒の探  
究活動と地元企業や自治体、研究機関等  
を結合するコンソーシアムの構築にあり  
新たに県教委の支援を受けて、地域と学  
校に精通した連携コーディネーターの配  
置や、本校の探究の学びを県下各校にオ  
ンラインで提供するモデル事業を展開し  
ております。本校の探究活動は多方面で  
活躍する同窓生の皆様のご支援を支えら  
れている面が強く、更なる発展に向け、  
皆様の一層のご支援をお願い申し上げます。

また、明治以来百二十年を超えて連続  
と受け継がれてきた本校の伝統を未来に  
繋げる佐久新校の構想は、今年から本格  
化する見通しであり、施設整備に向けた  
具体的な検討が始まります。地域の学び  
の拠点に相応しい充実した施設の構築に  
向け、様々な角度から皆様のご意見賜り

もう一点、昨年の活動を振り返って触  
れておきたいことがあります。  
二十余年前、本校創立百周年事業の一  
環として、前山の貞祥寺の高台に戦没さ  
れた同窓先輩を祀る「太平洋戦争戦没者  
慰霊碑」が、母校を正面に望む形で建立  
されているの皆さんご承知のとおりで  
す。その慰霊碑の護持と慰霊祭の在り方  
についてです。

戦没者慰霊碑は全国に約一万六千基あ  
ると言われておりますが、私たちがこのよ  
うに同窓戦没者をまとめて祀る碑を建て  
て、あるとしても極めて希有なことと思  
います。昨年度の慰霊祭の状況および  
我々役員の方の思いについては8ページの篠  
原副会長の報告をご覧ください。そこに  
ありますように、この慰霊碑および慰霊  
祭は我が校、我が同窓会の非戦をそして  
平和を願う心（決意）の象徴としてこれ  
まで以上に大事にしていかなければと思  
います。そのための今後の具体策を模索  
していきたくと思っております。  
この件につきましては皆様のお知恵をお  
借りしたくお願いする次第です。  
末尾になりましたが、コロナ禍の完全  
収束を願いつつ、本年が皆様にとりまし  
て健やかで実り多い年となりますよう祈  
念いたしました新年のご挨拶と致します。

まずようお願い申し上げます。  
昨年十一月には岳南会よりご支援賜り、  
生徒会が企画し新海誠監督を地元にお招  
きしました。各学年ではヒタカズ先生の  
コロナの授業を受け、再び宇宙に向かう  
油井亀美也さんを応援し、活躍する諸先  
輩から刺激を受けながら、現役生は野沢  
北高校を舞台に青春を謳歌しています。  
世界に目を向け活躍の場を広げる生徒が  
増えている一方で、長引くロシアのウク  
ライナ侵攻やパレスチナの戦争に、不  
安な未来を想像している生徒が多いのも  
現実です。昨年十月に本校で講演いた  
だいたフォトジャーナリストの安田奈津  
紀さんからは「日本も大変な時になぜ世  
界なのか？」という大切な問を与えて  
いただきました。

岳南会の皆様におかれましては本年も  
引き続き、生徒の成長に様々な面でご支  
援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

分かち合う力

グループホームせせらぎ

堀内園子(84回)



わたしは、小諸市で記憶力や判断力の低下に悩み、思ったように体を動かすのが難しくなった65歳以上の人が暮らす「せせらぎ」という名のグループホームの運営とケアをしています。野沢北高校を卒業後、聖路加看護大学(現 聖路加国際大学)に進学し、看護師と保健師のライセンスを取得しました。以降、看護師として病院に勤務し、大学で研究員・教員を経験し、博士課程を修了しました。

野沢北高校に入るきっかけは小学校の先生の言葉でした。6年間同じ先生が担任でした。その先生が「何かを研究し、深く学びたいなら、野沢北高校を目

指すといいね」とおっしゃったのです。当時は学区が決まっていたので「研究・大学進学」という事では野沢北高校が良いとおっしゃったのだと思います。小学校1、2年の頃の話です。その時、何故だか「野沢北高校」という音が素敵な響きに聞こえました。それ以来、進学するから野沢北と思い入学しました。入学後は小海線の乙女駅から中込駅まで乗車し、自転車に乗り換え、学校へ。厚くて重い教科書を自転車の籠に入れると、ハンドルさばきが難しく、その状態で佐久大橋の横風に必死で耐えました。「学校がもう少し駅の近くにあったら」と何度も感じました。そんなことを思っていたら「俺なんか毎日ちよつとした遠足だよ。冬に雪で道が封鎖されたら学校来られないし」と野辺山の友人が話すのを聞いて、小諸からの通学で文句は言えないと反省しました。



認知症ケアセミナー

発して駅前の喫茶店に寄って友人とたわいもない話で大笑いし、良い時を過ごしました。一番の問題は勉強でした。野沢北高校の授業はスピードが速く、予習・復習も間に合わず「わたしてここんなに勉強できなかったっけ？」とがっかりしました。ある日、わたしが化学の問題に四苦八苦している時、隣の席の○君はさらさらと問題を解き、残り時間は机にうつ伏せになって寝ていました。問題を解き終わってから「○君、化学の問題を解くの早かったね」と話しか

けると「うん。化学で時間が余ったから、生物の問題も解いたけど、時間が余って休憩していたんだ」と答えました。○君はわたしが化学の問題を時間一杯使って解いている間に生物の問題まで解き終わり、脳を休ませていたのです。○君は、化学は満点で、余力で解いた生物の問題も満点でした。「こんな天才がいるんだ」と衝撃を受けました。いまだに○君に感じたあの感動は忘れられません。他にも個性的な人たちが多く、平凡なわたしが野沢北高校に入ったのは間違いだっただかなと思う瞬間もあったのですが、良い友人先輩、後輩に恵まれ無事卒業出来ました。

さて、看護大学に入学してからは、臨床と教育、研究が互いにもっと連携できないだろうか、という思いが生まれました。看護学は、昔から存在していましたが、学問としての成熟度はまだ他領域に追いついておらず、「看護師になるのに何故大学に進むの?」という質問を度々受けました。最近の看護界は、大学院修士課程を修了した専門看護師(CNS)や、感染症や認知症など特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有する認定看護師も登場し、専門知識や新しい技術がより円滑に臨床に取り入れられる土壌が出来ていますが、当時はまだまだでした。現場に研究成果を還元したいという思いもあ

り、博士課程に進みました。看護師は「病院」で働くことが多い、病名が付く、治療法のある人に看護を提供します。けれど、診断がつかない人や診断はついていても原因不明で治療法が確立していない方は、家に戻って困っていらつしやいました。そうした方々にも看護が出来る事があるのではないかと考え2006年にNPO法人を立ち上げ、デイサロンを開設。自宅で暮らす高齢者や介護者に対し、健康相談やストレス緩和ケアを実践し、受診に付き添う等の活動を始めました。

グループホーム(以下、ホーム)は2000年に両親が退職金を使って開設しました。当時の認知症ケアは、今では考えられないような状況でした。体が動かさなくなった認知症高齢者が暗い畳の部屋で尿が背中までしみたままで寝ていて、痒みのために体中をかきむしっているのです。高齢者の手には、おむつ外し防止のための野球のグローブがはめられていることもありました。これは介護者が安易に行ったことではなく、高齢者と介護者の間に壮絶なやりとりを経て辿り着いた結果でした。介護者は自分の髪を梳かす余裕もなく、手の震えが止まらず、耳鳴りや不眠に悩んでいました。懸命に看ている介護者も、お世話を断ち切るために何か出来ない

か？理想のケアが出来ないか？という両親の思いがホーム設立につながりました。ホームは入居人数が1ユニット9名までの小規模な施設で、家庭的な雰囲気づくりを大事にしています。記憶力や判断力の衰えにより、今まで当たり前に出ていた衣食住の事柄がうまく出来ず、失敗を繰り返すようになります。眼鏡を置いた記憶はあるのに、何処に置いたか分からない。何をやるのにもいちいち手間取り、どうにもならない辛さや苛立ちが認知症を悪化させ、周囲の人に怒りをぶつけることで人間関係にもひびが入ります。ホームでは、ご飯作り、洗濯、掃除、畑仕事などや、書道や歌唱などの趣味も取り入れ日常のあれこれを専門の職員が共に行います。失敗しても大丈夫、という安心の環境のもと、生活リハビリで脳の機能を維持できるよう目指します。全室個室なので、自分の時間も過ごせます。ここで重要になるのが「分かち合う」ということです。職員が一方的にケアをする人となるのではなく、入居者の力も借り、お互いに支え合う関係作りです。

わたしの言葉を信じないんだ！」と同居家族に物を投げつけ、大声で怒鳴るようになりまし。入居直後、Aさんは眉間にしわを寄せ、「こんな所に勝手に連れてこられた」と不機嫌でした。家で大暴れをしたAさんは服用薬の量も20種類以上ありました。そんなAさんですが、本来働き者で、面倒見のよい人で、職員が食事準備を頑張っていると「どれ、わたしが手伝うか」と腕まくりをし、野菜の下ごしらえを手伝ってくれました。「Aさん手際が良いですね」と職員が言うと「こんなことなんでもないよ。働きたら」家事をしていたものだから「少し照れたように言いました。Aさんが淹れてくれるお茶は美味しくて」「Aさんの淹れたお茶が飲みたい！」と他の入居者から言われると「仕方ない」とお茶を淹れ、みんなが「美味しい！」と言うと口元と頬が緩み、笑顔が見られました。このタイムミングで、ホームの協力医と服用薬について検討しました。Aさんの様子から、服用を中止する薬、減薬をするもの、継続する薬を決め、最終的には3種類になりました。こうしたことをする中で、Aさんが「最近トイレが間に合わなくて、下着を汚しちゃう」と自分の困りごとを職員に相談してくれました。Aさんの困りごとを一緒に考え、解決し、Aさんも自分から美味しいお茶を淹れてくれるようになり



散歩の風景

ました。Aさんの眉間のしわも消えていました。面会にいらしたご家族も穏やかなAさんの姿に「お母さんが楽しそうでした。良かった」と言って下さいました。ホームの中で時間や空間を分かち合い、互いに支え合うことが、Aさん本来の力を引き出したのではないのでしょうか。互いの力を分かち合う風景として97歳のご入居者が94歳の方の車椅子を押す様子を写真に撮りました。もし、この記事を読んでせせらぎに興味を持った同窓生がいらしたら、ぜひ立ち寄り頂き、皆様のお力をお貸しください。多分、せせらぎからも皆様に何らかのパワーを差し上げられると思います。少し前になりますが2019年の冬、卒業30周年の同窓会が開かれました。仕事や家の事情などで参加出来なかった友人もいますが、実行委員として同窓会の連絡をとる中で近況を知る

ことができました。30年ぶりに会う友人達とは、ごく自然に会話が始まり、高校の頃にはほとんど話したことのない他クラスの人とも「野沢北高あるある」の話で盛り上がりました。不思議なものです。同窓会の後、温かい気持ちになり、力が湧いてきました。同じ空間、時代、雰囲気分かち合う仲間がいる素晴らしい同窓会とグループホームのケアを通じて改めて感じています。我が家の子どもたち2人も野沢北高校に進学しました。新型コロナウイルス真っ只中に入学した長男は応援練習の機会なく卒業しましたが、仲間との時間を楽しみ、班活でも力を出し切りました。在校中の娘は、わたしのようになタイ焼きを学校帰りに食べるようなことはしていませんが、充実した高校生活を送っているようです。「野北って駅から遠い」の件では親子ともども同意見で



せせらぎ

盛り上がりです。野沢北高校はこれから新しい高校に生まれ変わっていきますが、新しい学校になっても、同じ場所や時間や雰囲気を分かち合う関係が生まれ、同窓生どうしが力を与え合う場になることを祈っています。

いろいろな人がいて、助け合って共に生きる。私たちは遙か昔から、そうやって人間らしく生きてきました。そして、これから「どうやって共に生きていくか」：グループホーム「せせらぎ」は、未来委に向けて、一つの具体的提案を示している。堀内さんの話をお聞きして、そう感じました。

(編集部)



## 67回卒業生 50周年

2022年11月5日(土)、佐久グランドホテルにおいて開催することができました。

岳南会吉岡会長、北高柳沢学校長、恩師である西澤先生、藤澤先生のご臨席をいただき、卒業生68名の参加を得ました。校歌、そして学生歌を合唱し、準備委員会から当会の実施までの実行委員会と合計18回の会合を行いました。諸先輩方の慣例に習えば、2021年に開催するはずでした。コロナ禍での開催の可否、その日程等何度も話し合い、1年遅れのこの日を迎えることができました。実行委員の皆様、大変お疲れさまでした。改めてご来賓の皆様、参加いただいた同期の皆様、賛助金にご協力いただいた皆様そしていろいろお世話いただいた岳南会事務局の井出先生ありがとうございました。関係者の皆様、全ての同期の皆様のご健勝をお祈りいたします。



ご来賓と1,2,3組



ご来賓と4,5,6組



学生歌の合唱

## 69回卒業生 50周年

深まりつつある秋の好日、第69回卒業生の卒業50周年記念式典及び同窓会が佐久グランドホテルで開催されました。  
参加は、勝保啓子代表をはじめ6クラス83名。来賓として同窓会副会長の篠原秀郷さん、校長の柳沢敬先生、恩師の小林慎先生と佐藤俊夫先生のご臨席を賜りました。

ご祝辞のなかで、2029年に開校する佐久新校の進捗状況や海外に目を向ける在校生の姿が紹介され、北高の良質な部分がさらに新校で高められていくのではないかと期待を持ちました。素晴らしい高校の誕生に向け、協力を惜しまないことを心に誓いました。また、二人の恩師からは、あの時代の生徒たちの姿やご自身の近況が語られ、時に笑いに包まれて和やかなひと時となりました。

祝賀会ではクラスを超えて旧交を温める人垣がいつしか会場に満ち、ともに過ごした青春の時に酔いしれました。

最後は校歌を斉唱し、万歳三唱で至福の3時間余を閉じました。

なお、集まった協力金は教育環境整備費用として、感謝を込めて母校に寄贈させていただきました。



記念品贈呈



勝保啓子代表挨拶

# 89回卒業生 30周年

令和5年8月14日、これまでの諸先輩方の慣例を踏襲し卒業30周年記念事業を開催させていただきました。コロナ禍から日常を取り戻したとはいえ、多くの学友が集うことが叶うかどうかという不安の中、岳南会会長、野沢北高校校長、佐久市長、学級担任を来賓に迎え、121名の同窓生のご参加頂き、式典および大同窓会を盛会のうちに終えることができました。

50歳に至らぬ私たちですが、卒業から30年が過ぎ、再会を果たし喜びあえたことは、実は非常に貴重であり「有難い」ことであると強く感じております。生きて会えるということの幸せは、これから年々増していくことでしょう。そしてこの再会は、ただの懐かしさだけではなく、これから生活に何とも言えない彩りを与えてくれました。それは、忘れることのない高校生活が如何に私たちにとって美しく鮮やかであったかを感じ出させてくれたからだと思います。89回生の仲間に出会えたことを心から感謝し、これからも絶えることのない交流が続くことを切に願います。



長野県野沢北高等学校岳南会89期生 卒後30周年記念式典  
2023年8月14日（令和5年）佐久グランドホテルにて

## 支部から

紙面の関係で、簡単な紹介です。  
詳しくは岳南会ホームページをご覧ください。

### 関西岳南会

令和5年度関西岳南会  
& 関西鈴蘭会合同総会  
が開催されました

令和5年5月13日(土)

11時～15時

於・ホテルグランヴィア  
大阪



### 東京岳南会

2023年6月  
10日(土)に第62  
回東京岳南会総  
会・交流会がアリ  
スアクアガーデン  
銀座にて開催  
されました。



### 八千穂支部

異常な暑さもひと段落し、ようやく秋の  
気配が見え始めた9月30日(土)、八千穂  
総会がレストラン・ハーモナイズで開催  
されました。



### 小諸支部

小諸支部では、  
毎年、吹奏楽班  
の定演に生花を  
贈る・ゴルフコン  
ペや face book で  
の交流など行っ  
ています。  
他支部との合同  
を、という意見  
もでています。



# ハンドボール班 創世記

73期（昭和52年卒業） 小宮山良典

今でも47年前の北高時代のあのシーンを鮮明に臉の裏に思い起こすことが出来ます。

体育館での高2の時の年度末の生徒総会。  
議長の発した決議の声。  
「ハンドボール同好会の班昇格を承認される方は挙手を御願致します。」

体育館を埋め尽くした生徒から、ハイハイと挙げられた手が、うねりのように迫る様は、班昇格への提案者として壇上に残っていた私には熱いものが込み上げてきました。

生徒総会前私は、コマねずみのように友人・知人に声をかけ、賛成をお願いしていました。

特に同じグラウンドで練習していた野球班、陸上班、サッカー班、庭球班、それにインドアでも仲の良かったバスケット班、剣道班、柔道班、卓球班等の面々。女子のバレー・バスケットにも声をかけました。当然気心の知れた文化班の仲間、クラスメートにも声をかけ、総会を迎えることとなりました。

「いつ手を挙げればいいんだ？」  
「ほんとに総会で取りあげるん

か？」などと、軽口をたたいていた友達もみんな力になって悲願を達成することが出来ました。

そもそも私たちがハンドボールをやるとういう時に同好会としての存在はありませんでした。確か生徒手帳が何かにクラブ活動の説明に同好会としていくつかの名称が書かれていました。その中にハンドボール同好会がありました。

文化班に所属していた私ですが何か運動がしたいとの思いで、またハンドボールというあまりみんなが知らないスポーツをしてみたいとの思いで、同級の数人と一緒に同好会の門を叩いてみました。高1の年度末ことでした。

するとハンドボール同好会としての活動はゼロで何もしてないとのことでした。君たちがやりたいなら勝手にやってみようよとの先輩の言葉でした。

えーとは思いましたが、同好会としての形が無くて、ハンドボールをしたい、スポーツがしたいという私たちにとつては、どうにか自分たちでやっていこうという思いが強く湧き上がっ

た記憶があります。

そんな中でクラスの数人と活動を始めました。まずは用具からです。名前だけの同好会でしたので、何もありません。みんなでお金を出し合って、ボールを2個買いました。それで最初はパスの練習です。グラウンドの隅っこで何となく、テレビで見た練習風景のまねで始めました。

次にメンバーでした。最初にクラスの4名に声をかけて始めましたが、ハンドボールは7人の競技のため、1チーム作るにしてもまだ3名足りません。みんなを勧誘して、手取り早く私のクラス5組で6名、隣のクラスの6組から2名の計8名で活動を始めました。

グラウンドの隅っこで相変わらず練習していたのですが、たまたま体育の授業でハンドボールが取り上げられ、野球の1塁側のフェールグラウンドのところコートが設置されました。全学年のハンドボールの授業が終われば、コートもいつの間にか無くなってしまうだろうと思いき、スポーツ用品店で地面に打ち付けるコーナートのプレートを自分らで買い求め、実際打ち込み、白

卒業アルバムより  
(小宮山さん一番右)▼

線を引く目安とし毎日の練習で白線を引き、一時的な授業のコートではなく、常設のコートとして成り立たせました。また、そのグラウンドの場所は単なる野球のフェールグラウンドだったので凸凹があり、スコップで平らにした

り、毎日毎日ローラーをかけ平らになるようにして行きました。ただ毎日毎日のため、ある日女子庭球班の1年生が僕らの廻りでたむろするようになり、はつと気づきました。「このローラー庭球班の専用だ」と理解し、それからは庭球班の空いている時に使わせていただくようになりました。（※当時は大体育館はまだなくて、そこはテニスコートでした）

メンバーの中で他校のハンドの知人がいたりして、早くも白田高校と練習試合をすることになりました。結果は散々でしたが試合前のアップの仕方内容、時間配分、試合開始のコートの入り方や挨拶の仕方などいろいろ勉強させていただきました。



他にも他校に知り合いがおり、どこでどう言われたのか覚えていませんが、その頃は同好会でも連盟に登録できるとい話を聞き、私たちの中でも登録して正式に試合に出ようという話になりました。

その時、同好会でしたが化学の先生が顧問でした。「俺はわかってないよ」と言われましたが夏には連盟に同好会ですが登録しました。そしてその後には班昇格してからは体育の柏木先生が顧問となっていた活動がきました。部室も長屋状に連なっているところに美術班の倉庫があり、その所を本当に申し訳なかつたのですが、御厚意で譲っ



今もコートは現役▲

今は女子も▼



後輩たち▲

ていただくことが出来ました。  
 白田高校との練習試合の前からユニフォームを作らなければという話になり、お金を出し合い8番までの白地に緑のユニフォームを作りました。白地と濃い色の2色のユニフォームを作らなければというのは聞いていました。47年前では全日本クラスでしか見たことのなかったスカイプレー(空中にジャンプした選手に空中でパスをし、その選手が空中でシュートするプレー)を決められ、高校生がこんなすごいプレーをするんだと感服しましたが、非常に落ち込んだことを覚えています。  
 高2の間は一切勝てませんでした。当校が当時、県で9番目に登録された高校でした。そんな9校しかなかったのですが、シールド下などによく当てられ、負けてばかりでした。  
 特に高2の秋の国体予選では県の有力選手を集めた県選抜というチームと対戦しました。ハ

ンドボールというのは点取りゲームで自分たちが20点以上取り、相手を10点程度に抑えるというのが基本ですが、その試合は1-36という屈辱的な点差で負けました。ボールをまともに扱わせてもらえなかったという内容でした。47年前では全日本クラスでしか見たことのなかったスカイプレー(空中にジャンプした選手に空中でパスをし、その選手が空中でシュートするプレー)を決められ、高校生がこんなすごいプレーをするんだと感服しましたが、非常に落ち込んだことを覚えています。  
 高3のインターハイ予選で初勝利を上げることが出来ました。この1勝で東信ベスト8に入ることが出来、県大会に出場しました。当時非常にうれしかったのを覚えています。しかしここで私たちは引退で後は後輩に託しました。  
 後輩たちも続々入班してきま

した。僕らは同好会上がり、最初の負け続きで何かおどおどしたところがありました。班として入部してきた後輩たちは、ほんとに伸び伸びプレーしどんな相手でも怖気づかない試合が出来よう成長をしてくれたように見えました。  
 一念発起し、同好会から班に昇格させ、後輩たちに託したこの班が人数が減っても存続し活動していることは、47年前の高校生活での出来事を人生の中で大きな思い出として自分の心にしまっておけている自分は本当に幸せだと思っています。  
 今は、ハンドボールコートがあるのが、あたりまえの風景になっています。しかし50年ほど前、スコップを持ってコートをつつた彼らがいまいた。母校の歴史の1つに残しておきたいと、小宮山さんに原稿をお願いしました。  
 (編集部)

## 岳南会 令和6年総会のご案内

- 日時 令和6(2024)年1月5日(金)  
 場所 佐久グランドホテル2F  
 佐久市中込 ☎0267-62-0031
- 日程 総会 ●13:00～  
 議事:会務・会計報告、高校再編等  
 記念講演 ●14:15～  
 演題  
 「防災に見る科学・社会・郷里」  
 ～変わりゆくもの、変わらないもの～  
 講師  
 国立研究開発法人 防災科学技術研究所  
 総合防災情報センター長  
 筑波大学 教授 臼田裕一郎氏(88回卒)  
 吹奏楽班 新春演奏会 ●15:45～  
 懇親会 ●16:00～ 会費 6,000円
- 連絡先 岳南会事務局(野沢北高校内)  
 ☎070-4306-5364

## 百二十周年記念誌・百年史誌 販売終了のお知らせ

多数の方に、野沢北高等学校百二十周年記念誌「真善美ひたに追いつつ」をご購読いただき、感謝申し上げます。  
 サラトによる百二十周年記念誌、百年史の販売は、令和五年十二月十五日をもって、終了とさせていただきます。

### 百二十周年記念誌の正誤訂正

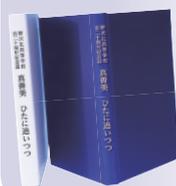
お詫びの上、左記のように訂正いたします。

○四十三頁

「think global act local」→「Think Globally Act Locally」

○百五十二頁

戸塚隆之 ↓ 戸塚隆久



# 第二十三回 岳南会戦没者等慰霊祭



本年もまた、先の大戦で人生の道半ばに斃れた二百三十七人の諸先輩を慰霊する追悼式が、六月四日(日)、貞祥寺慰霊碑前でしめやかに挙行されました。

母校創立百周年事業として、二〇〇一(平成一三)年一月二八日、慰霊碑の除幕と第一回慰霊祭が挙行され、爾来『慰霊碑護持会』によって長く維持運営されてまいりましたが、ご遺族の高齢化もあり、昨年より岳南会本会が引き継ぐこととしました。毎年六月第一週の日曜日、一〇時三〇分が例会となっております。

数日前の時ならぬ大雨の後、よく晴れわたった初夏の柔ら

かな日差しの中、貞祥寺ご住職岡本春海師の深い読経の聲が緑の木々の間に流れ、参列者一同先輩方のご冥福と平和への誓いを新たにしました。今年も、初めて生徒代表の石井勇多君(生徒会長)が参列し、吉岡徹同窓会長、柳沢敬野、北高等学校長とともに、大先輩の皆さんを偲び追悼の言葉を捧げました。

七〇年以上の時を隔てて、なお野沢北高校の良心が豊かな流れをつくり、しっかりと未来に繋がっていくことを実感しました。またさらに今年も、地元の友人の誘いもあって、遠方から初めて参加された六二回生の女性もいらっしやいました。

本会では、学校とも協議しながら、この日が在校生と同窓生とともに「非戦を誓う一日」となるよう、二四回以降のあり方を見直していきたいと考えております。多くのご意見をお寄せください。

また、二〇余年の歳月を経て樹木が繁茂し、現在、慰霊碑の高台から母校の全容を見

ることができません。常に生徒諸君の活動を見守っていただけのように、枝葉を整理し、視界を拓けていく所存です。来年に向けて、より多くのみな様が、遺徳を偲んでこの碑に足を運んでいただくよう、本会役員一同願って止みません。

岳南会副会長

篠原秀郷(65回)



## 令和5年度 岳南会 一般会計決算書

会計期間 令和4年11月16日～令和5年11月15日

収入総額 20,933,499円 支出総額 9,471,483円 差引残額 11,462,016円

### 【収入の部】

単位:円

項目	収入済額	備考
入会金	1,206,000	6,000円×201人(令和5年4月入学生・8月編入生)
卒業生終身会費	1,960,000	10,000円×196人(令和5年3月卒業生)
総会会費	276,000	
事務費	300,000	岳南塾より事務職員人件費補助
岳南会館維持管理費	502,500	2,500円×201人(令和5年4月入学生・8月編入生)
進路指導支援費	502,500	2,500円×201人(令和5年4月入学生・8月編入生)
岳南会活動協力金	1,557,777	郵便局(445,573)・コンビニ(1,078,204)・現金(34,000)
繰越金	13,953,357	
雑収入	675,365	120周年会計残金(634,117)・中電敷地料(825)・名簿(40,330)・利息(93)
合計	20,933,499	

### 【支出の部】

単位:円

項目	支出済額	備考
会報発行費	2,746,485	会報印刷費、封筒印刷費、振込用紙印刷費、郵送料等
総会費	639,868	会場費、講師謝礼、総会案内用往復葉書等
役員会議費	266,160	三役会、代議員会、会計監査等
支部会議費	331,100	祝儀、旅費等
高校再編検討会議費	106,306	旅費、活動費等
慶弔費	455,312	饗別、香典、祝儀、卒業証書用ホルダー、新入生校章バッジ等
財産管理費	0	
クラブ等後援費	435,077	1,000円×200名、全国大会祝儀・祝垂幕費、広告代等
進路指導支援費	600,000	進路指導支援
岳南会館維持管理費	755,567	会館電気料、暖房費、補修費等
事務費	1,074,243	事務職員人件費、事務用品、葉書、封筒、切手等
ホームページ管理費	225,585	各月ホームページ更新・管理
予備費	1,835,780	教育・研修費(1,000,000円) 120周年式典記録集(835,780円)
合計	9,471,483	

以上相違ありません。

令和5年11月29日

会計監査 篠澤 一平  
木内 清  
荻原 泰昭

## 御礼

まず本同窓会への活動協力金について御礼とお願いを申し上げます。この「岳南会ニュース」に同封して毎年お願いしております協力金ですが昨年は計737件、155万7777円を頂戴いたしました。ご協力の心から感謝申し上げます。この協力金は母校の生徒の学習指導への支援にも使わせていただいております。本年も何とぞよろしくお願い致します。

次に本会恒例の卒業30・50周年記念同級会からの寄付金です。

昨年は卒業30周年、89回卒の皆さんから260万円を、また卒業50周年、69回卒の皆さんから120万円をそれぞれご寄付いただきました。誠にありがとうございます。

この周年寄付は我が岳南会の確固とした伝統として新校へも引き継いでいきたいと考えております。

(会長 吉岡徹)

## 秋に同窓生の講演会が行われました

佐久市立図書館の主催

青木 理さん  
小木田順子さん  
(ともに81回)



生徒会の働きかけから

新海 誠さん (85回)



サイン入りポスター

## 令和5年 会務報告(総会1月5日以降、事務局把握分)

- |   |   |
|---|---|
| 1月5日(木) 第1回役員会・第1回代議員会 令和5年岳南会総会<br>於佐久ランドホテル 参加者約80名<br>記念講演 堀内園子氏(84回卒)<br>看護学博士 グループホームせせらぎホーム長<br>演題「脳の可能性を広げる工夫と老いへの備え<br>～笑顔でバトンを渡して行こう～」 | 6月10日(土) 東京支部総会開催 出席者 41名<br>会長、学校長、事務局出席     |
| 1月14日(土) 岩村田支部総会開催 出席者 12名 会長出席   | 6月17日(土) 小諸支部総会開催 出席者 33名<br>正副会長、学校長、事務局出席   |
| 2月18日(土) 第24回再編検討委員会(同窓会館)  | 6月20日(金) 佐久新校創設推進協議会設立総会(佐久市役所)               |
| 2月28日(火) 120周年記念事業 記念誌部会  | 8月14日(月) 第89回生卒業30周年同窓会<br>会長、学校長出席           |
| 3月 4日(土) 野沢北高校卒業式<br>会長出席(会長祝辞プリント配布)   | 8月18日(金) 120周年記念事業記念誌部会(三河屋)                  |
| 3月18日(土) 小海支部総会開催 出席者 27名<br>会長、学校長出席   | 8月21日(月) 第3回役員会(同窓会館)                         |
| 3月27日(月) 120周年記念事業実行委員会(佐久ランドホテル)   | 9月 2日(土) 第2回代議員会(一萬里温泉ホテル)<br>参加者42名          |
| 4月 5日(水) 野沢北高校入学式 会長出席  | 9月 6日(水) 第27回再編検討委員会(同窓会館)                    |
| 4月 8日(土) 第25回再編検討委員会(同窓会館)  | 9月30日(土) 八千穂支部総会開催 出席者 14名<br>学校長、正副会長、事務局出席  |
| 4月22日(土) 臼田支部総会開催 出席者27名<br>正副会長、学校長、事務局出席  | 10月10日(火) 第2回佐久新校創設推進協議会(岳南会館)                |
| 5月13日(水) 関西支部総会開催 出席者 15名<br>会長、学校長出席   | 10月13日(金) 小諸支部主催ゴルフ大会開催 出席者32名<br>会長、事務局出席    |
| 6月 1日(木) 第2回役員会(同窓会館)   | 10月21日(土) 第69回生卒業50周年同窓会<br>篠原副会長、学校長出席       |
| 6月 4日(日) 戦没者等慰霊祭 貞祥寺 参加者 15名  | 11月29日(水) 会計監査 監査委員、会長、事務局出席                  |
| 6月 5日(月) 第26回再編検討委員会(同窓会館)  | 11月30日(木) 野沢支部役員会開催 出席者 20名<br>正副会長、学校長、事務局出席 |
|   | 12月 8日(金) 第3回役員会(三河屋)                         |

## 会務計画(今後の予定)

- 令和6年 岳南会総会(代議員会あり)  
1月5日(金) 岳南会総会 10時～代議員会 13時～総会  
於：佐久ランドホテル
  - 役員会(年4回 1月 6月 8月 12月)
  - 代議員会(年2回1月8月)
  - 各支部総会(各支部ごとに計画)
  - 再編検討委員会(適宜)
  - 「卒業周年記念同窓会」：30周年(90回卒) 50周年(70回卒)
  - 岳南会ニュース発行、協力金依頼(12月中旬)
  - その他
- (9) 岳南会ニュース第34号

# 岳南会再編検討委員会 活動経過報告

## 再編実施基本計画決定

二〇二三年一月六日、長野県教育委員会定例会は佐久新校(仮称)について次のように決定し発表しました。(骨子)

一 二〇二九(令和十二)年度

募集開始開校)

II 野沢北高等学校の校地・校舎を活用

III 全日制課程は学際領域に関する学科8学級程度

定時制課程は普通科1学級

A 学科の名称、募集学級数は開校前年度決定

I 文理融合的な分野や先端的課題に対応できる

高い学力を身につける学科

IV 地域、大学、研究機関とも協働する「知の探究校」を構想

V 新しい学びに必要な施設を整備

課題の精査と重要3項目

上記内容は、既に前年から予測されていたものですが、「岳南会再編検討委員会」ならびに「野沢北・野沢南2校同窓会連絡協議会」(連絡協議会)は、あらためて二〇一九年の開校に係る課題を精査し、以下の3項目を実現することが、新しい時代を担う佐久の子どもたちの学びの拠点として重要であると結論しました。

一、校地を拡幅すること

現在の野沢北高校の校地は、学年8学級規模で定時制を併設し、かつ新しい学びを展開する上で十分とは言えず、駐車も狭隘である。

二、通学の利便性・安全性を確保すること

JR佐久平駅や中込駅と学校を結ぶ道路交通アクセスの充実を期待する。

三、校舎を全面改築すること

現野沢北高校の校舎は著しい老朽化がみられる。新校舎は、長野県の「県立学校学習空間デザイン検討委員会」の案に沿って全面新築し、最新の教育環境を整えた夢のある学びの場を創設するよう働きかける。

## 意見募集の実施

特にこれから高校生となる小学生(現4年生が新校初入学)、中学生およびその保護者の声を集約して基本計画に生かすため意見募集を行っています。一般用も用意してありますので是非多くの声をお寄せください。詳しくは岳南会HPをご覧ください。野沢北・野沢南両校事務室受付にも用紙が用意されています。また、「新アンケート」のQRコードからも参加できます。

岳南会再編検討委員会は、今後も岳南会の意思を丁寧に取りながら、野沢南高同窓会と連携を密にし、佐久新校の理想像を追求してまいります。

## 佐久新校創設推進協議会の発足

昨年のこの稿でも述べたとおり、連絡協議会はJR小海線の駅に近い場所に統合新校を創設することを主眼に、二〇二〇年十一月以降ほぼ単独で運動を進めてきました。この活動が頓挫したことの反省に立って、「重要3項目」の実現のためにより大きな力を結集することを決め、二〇二三年六月、「佐久新校創設推進協議会」を設立しました。

この協議会は、柳田清二佐久市長を会長に、全佐久の政界、財界、教育界の代表三〇名を糾合した、具体的な運動を強力にすすめる組織です。この設立総会では、今後の方針などとともに「重要3項目」実現に向けた県知事宛の「要望書」が採択されました。そして八月十日には県庁で柳田会長から内堀繁利県教育長に提出され、さらに懇談の中で佐久の高い教育力を象徴する新校舎の建設が切望される旨、強く主張されました。

## 新校舎の建設にむけて

県教育委員会は、佐久新校施設整備事業を進めるにあたり、NSD(長野県スクールデザイン)によるプロポーザル方式を採用し、二〇二三年六月から公募を開始しました。そして八月の一次審査(参加三者・非公開)を経て九月の二次審査(六者・公開)の結果、最適候補者を選定し、一月には委託契約を締結しました。

注目するのは、基本計画の策定(二〇二四年六月予定)のために設置される二つの意見交換の場の存在です。一つは事業者が開催するワークショップ。学校職員・生徒対象と地域対象に分かれそれぞれ複数回実施されます。二つ目は懇話会内に設ける専門部会(NSD会議)です。大切なことは、こうした意見交換の場を生かし、事業者と協力しながら「重要3項目」を実現していくということです。この基本計画段階こそが、最も重要な時期であると言っても過言ではありません。直接、間接を問わず、岳南会諸賢による議論の牽引を期待して止みません。

## 佐久新校(仮称)

## アンケートのお願い

佐久新校創設推進協議会

野沢北高校と野沢南高校が統合し、2029年4月に新しい学校が誕生します。現在の小学校4年生が最初の入学生になります。2023年9月現在、決まっているのは次のような事柄です。

- 1 新時代を切り拓く「創造力」と「探究心」をはぐくみ、高い志の進路を実現して地域・日本・世界に貢献する人物を輩出していく。
- 2 現在の野沢北高校の敷地を活用し、校舎は新築する。
- 3 募集は全日制8学級程度、定時制1学級とする。(2028年度に正式決定)

佐久新校が、伝統ある野沢北・野沢南両校のすぐれた教育力を引き継いで、新しい時代を担う佐久の子どもたちの成長を支援していくことは、地域社会の発展にとって大きな意味があります。

わたしたちは、本年6月に佐久地域各界の皆様のご賛同を得て「佐久新校創設推進協議会」を設立し、よりよい高等学校を実現するために活動を進めています。

このアンケートは、かかわりの深い地域の児童生徒や保護者、一般の皆様への期待や疑問の声を広く募り、佐久新校の具体像に生かそうとするために実施するものです。趣旨をご理解いただき、是非ともご協力いただくようお願い致します。

## ご留意いただきたいこと

- ①「児童・生徒用」と「保護者・一般用」の2種類があります。
- ② 児童・生徒のアンケート作成の際、わからない言葉や意味については、保護者の皆様をご指導ください。
- ③ この「お願い」と「アンケート」は野沢北高校同窓会HP上に公開されています。また、下のQRコードからも回答することができます。

## ○野沢北同窓会HP

岳南会 長野県野沢北高等学校同窓会 (bakunankai.jp)

- ④ 郵送も受け付けています。下記事務局まで送付して下さい。あわせてご不明の点につきましてもご質問ください。



保護者・一般用



児童・生徒用

# 進路指導室から

岳南会の皆様におかれましては、平素より本校の進路指導に對し多大なご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。今年も現在までの進路状況についてご報告申し上げたいと思います。令和五年度大学入学共通テストでは、数学の易化の影響を受け、七科目型全国平均点が、文系五三二点(得点率五九・一%)、理系五五二点(同六一・二%)と前年度から大きく上がりました(ベネッセ・駿台データネット実行委員会

予測。本校文系生では五三二点(得点率五九・〇%)、理系生では五四二点(同六〇・二%)となりほぼ全国平均並みという結果でした。大学入学共通テストは実施開始以来、問題の難易度が大きく上下していましたが、三回目を迎える今後これくらいの平均点で推移するのではないかと考えられます。

▼卒業生の概況  
令和四年度末における大学合格者数は掲載表のようになっています。現役生の国立大学合格者数は七二名(うち進学者は六二名)で前年度より

八名の減となりました。難関大学としては京都大学、一橋大学、北海道大学に各一名の合格を果たしています。医学科については、信州大学医学科に一名の現役合格を出しました。長野県及び周辺の国立大学では、信州大学一名、金沢大学四名、群馬大学五名、長野県立大学四名、高崎経済大学四名の合格という結果となっています。

私立大学進学者は九三名となっています。ここ二、三年は私立大学進学者が増え、卒業生数に対する割合は五割に近づこうかという状況になってき

ており、北高生の進路動向に変化が見られます。

▼在校生の現況  
現三年生は、入学以来のコロナ禍の影響や余波を受け、高校生活における学校行事等で様々な変更を余儀なくされてきましたが、学年担任団を中心として熱心で手厚い指導を受け、自らの将来を見据えて上級学校への進学を目指し、九八%にあたる二八二名が大学入学共通テストに出席しました。様々な制約がある中で、第一志望突破のために日々の授業に励み、また放課

後の補習や居残り学習に励んでいるという現状です。

▼同窓生の背中を追いかけて  
一年次の大学インターンシップでは信州大学在籍生、キャリア講演会では各界の社会人、どちらとも同窓の皆さまのお力を拝借しながら実施し、キャリア行事として定着してきております。百年の伝統を誇る推挙会は一、二年生合同で同窓の方々の講話を拝聴しています。こうした同窓生の皆さまとの交流が生徒たちの希望実現に繋がるよう、キャリア教育の一層の充実を図ってまいります。

## ▼進路実現のために

令和七年度入試からは新しい教育課程に基づき、知識に加え「思考・判断・表現」力が評価されるようになります。既に大学では入試改革が進行しつつあり、総合型選抜・学校推薦型選抜の比重拡大や、探究活動の成果及びプロセスから得たものを評価する入試、探究型の資質や能力を評価する入試、大学と連携した探究活動の成果を評価する入試等々、探究と絡んだ多様な入試が展開されつつあります。それらに対応できるようこれからも北高の進路指導の研鑽に努めてまいります。

激しく揺れ動く国外情勢や国内社会の様々なる変革、価値観の変化の中で、百二十年を超える長い歴史を持つ本校もまた「佐久新校」へとその伝統を如何に引き渡していくか、模索と検討が続きますが、現在の北高生は岳南会員の皆様にご協力をいただきながら、徒に変化に流されず、変化を受け容れながらもしなやかに、主体的に自己の将来像を探究していくはずで、本校の岳南会会員皆様による後輩生徒への温かいご支援を今後ともよろしくお願い申し上げます。

# 大学等合格状況 (2023.4.1 現在)

卒業生数	大学等合格状況									
	国立大学	準大学	私立大学	外国大学等	大学計	公立短大	私立短大	短大計	各種/専修	総計
	196	71	0	250	0	321	0	1	1	5
	現	71	0	250	0	321	0	1	5	328
	過	12	0	34	0	46	0	0	0	46
	計	83	0	284	0	367	0	1	5	374

## 国立大学合格者数

大学名	現	過	計
北海道	1		1
東北		1	1
秋田		1	1
茨城	1		1
宇都宮	1		1
群馬	5		5
埼玉	1	1	2
千葉	3		3
お茶の水女子	1		1
東京農工	1		1
一橋	1		1
横浜国立	2	1	3
上越教育	3	1	4
長岡技術科学	1		1
新潟	1		1
富山	2		2
金沢	6	2	8
福井	1		1
山梨	1		1
信州	10	2	12
(人文)			
(教育)	4	1	5
(経法)			
(理)	1		1
(医)	1	1	2
(工)	3		3
(農)			
(繊維)	1		1
岐阜	2		2
静岡		2	2
名古屋工業	1		1
愛知教育		1	1
京都	1		1
和歌山	1		1
鹿屋体育大	1		1
琉球			

## 公立大学/準大学合格者数

大学名	現	過	計
大分県立米沢栄養	1		1
山形県立医科	1		1
福島県立	1		1
高崎経済	4		4
東京都立	1		1
横浜市立	1		1
川崎市立看護	1		1
新潟県立	1		1
長岡造形	1		1
都留文科大学	1		1
山梨県立	2		2
長野県看護	1		1
長野県立	4		4
長野県立野立	1		1
静岡県立	1		1
愛知県立	1		1
名	1		1

## 私立大学合格者数

大学名	現	過	計
大岩手医科	1	1	2
東北医科薬科		1	1
東北芸術工社	2		2
国際医療福祉	1	1	2
白鷺	1		1
群馬パース	5		5
群馬医療福祉	1		1
高崎健康福祉	8		8
高崎商科	3		3
高崎西	3		3
東京国際	4		4
獨協	2		2
日本工業	4		4
日文	9	1	10
ものづくり	2		2
秀葉工業	1		1
千葉学	2		2
青山細	1		1
亜細	1		1
桜美林	2		2
大妻女子	1		1
大妻習	1		1
北里	3	1	4
共立女子	3		3
慶応義塾	6		6
工学	2		2
國學院	2		2
駒澤	4	1	5
芝浦工業	4	5	9
実践女子	2		2
順天堂	3		3
昭和	1		1
昭和女子	1		1
白百合女子	1		1
成蹊	1		1
成城		1	1
聖心女子	1		1
専修	7	1	8
大正	3		3
大東文化	10		10
中央	6	1	7
津田塾	1		1
帝京	6	1	7
東海	7	1	8
東京工科	2		2
東京工芸	1		1
東京女子	1		1
東京造形	1		1
東京電機	1	2	3
東京都市		1	1
東京農業	4	1	5
東京理	5	1	6
東京科	4		4
東京邦	1		1
東洋	10	3	13
日	8	3	11
日本女子	1		1

法政	蔵野	4		4
武蔵野	1			1
武蔵野美術	2			2
武蔵野星	3			3
明星	5			5
明治	3	2		5
明治学	4			4
目白	1			1
立教	2			2
立正	1			1
早稲田	2			2
麻布	2			2
神奈川	7	1		8
関東学院	1			1
新潟医療福祉	3			3
金沢工業	4			4
北陸	2			2
福井工業	1			1
山梨学院	1			1
佐久	7			7
清泉女学院	1			1
長野保健医療	2			2
静岡理工科	1			1
愛知医		1		1
愛知学	3			3
愛知工	1			1
愛知淑	2			2
大同	1			1
中京	2			2
名古屋学芸	1			1
南山	1			1
藤田医	2			2
名城	1			1
京都女	2			2
龍谷		2		2
関西	1			1
近畿	1	1		2
大和	1			1
関西学院	1			1
吉備国	1			1
広島経	1			1
広島	1			1

## 外国大学等合格者数

大学名	現	過	計
大	0	0	0

## 私立短大合格者数

大学名	現	過	計
大	1	0	1
佐久大信州短大	1	0	1

## 専修各種学校合格者数

大学名	現	過	計
大	1	0	1
医療系	1	0	1
その他	4	0	4

## 就職

	現	過	計
民間企業	0	0	0
国家公務員	0	0	0
地方公務員	0	0	0
団体職	0	0	0
自営	0	0	0
計	0	0	0

進路指導係 阿藤 正彦

# 班・同好会活動報告 (R4秋から)

東北信の顕著な活動・県大会以上を中心に報告します

## 運動班

- 野球
  - <第148回北信越長野大会>
  - 東信大会
  - ベスト4 (シード獲得)
  - 県大会
  - 本校 0-7 伊那北
  - <第105回全国高校長野大会>
  - 本校 0-10 下伊那農業
- 陸上
  - <R4 新人>
  - (男子)
  - 八種競技
  - 竹内睦喜 3位(北信越:9位)
  - (女子)
  - 100mハードル山本紗帆 7位
  - 5000m競歩
  - 後小路葉月 3位(北信越:8位)
  - 4×100mリレー
  - 関口・向井・川上・松橋
  - 4位(北信越へ)
  - 走幅跳
  - 関口時琉 5位(北信越へ)
  - 三段跳
  - 関口時琉 2位(北信越:6位)
  - <R5 県IH>
  - (男子)
  - 100m 高畑良太 8位入賞
  - 八種競技 竹内睦喜 4位(北信越へ)
  - (女子)
  - 100mハードル
  - 山本紗帆 8位入賞
  - 5000m競歩
  - 後小路葉月 1位(北信越へ)
  - 4×100mリレー
  - 関口・向井・川上・松橋
  - 5位(北信越へ)
  - 走幅跳 関口時琉 3位(北信越へ)
  - 三段跳 関口時琉 3位(北信越へ)
  - <R5 北信越IH>
  - (男子)
  - 八種競技 竹内睦喜 8位入賞
  - (女子)
  - 5000m競歩
  - 後小路葉月 1位(北海道IHへ)
  - 三段跳
  - 関口時琉 3位(北海道IHへ)
- ソフトテニス
  - <R4県新人>
  - (男子) 団体 1-2:須坂
  - 個人 岡本・大塚 ベスト16
  - (女子) 団体 3-R:上伊那/0-3:長野
  - 個人 平林・茂原 1回戦
  - <R4年度 東信選抜>
  - (男子)
  - 団体 準優勝
  - <R5 県IH>
  - (男子) 団体 1回戦

個人 林・中島 ベスト32  
 (女子) 個人 平林(紗)・茂原 1回戦  
 <R5 県国体一次>  
 (女子) 平林(紗)・茂原 ベスト32  
 <R5 県国体二次>  
 (女子) 鯨井・平林(紗) ベスト16  
 <R5 東信新人>  
 (女子) 個人 平林(紗)・茂原ペア 優勝

●テニス  
 <R4県新人>  
 (女子) 団体 1-4:中野西  
 <R5 東信IH>  
 (女子) 団体 優勝  
 <R5 県IH>  
 (女子) 団体 1-2:松本深志  
 個人 シングルス  
 大浦/関口/宮下 1回戦  
 個人 ダブルス  
 関口・大浦/石垣・宮下 1回戦  
 <R5 東信新人>  
 (男子) 団体 3位

●バスケット  
 <R4 県新人>  
 (男子) 1回戦 72-90 長野  
 (女子) 1回戦 82-53 松本深志  
 2回戦 58-65 長野日大  
 <R4 県選手権>  
 (女子) 1回戦 60-74 市立長野  
 <R5 県IH>  
 (男子) 1回戦 77-123 日本ウェルズ  
 (女子) 1回戦 72-69 飯田風越  
 2回戦 56-74 長野日大

●バレーボール  
 <R4 県選手権>  
 (男子) 1回戦 0-2:須坂創成  
 (女子) 1回戦 2-0 松本深志  
 2回戦 0-2 松商学園  
 ベスト16  
 <R4 東信新人>  
 (女子)  
 決勝 2-1 佐久長聖 優勝  
 <R4 県新人>  
 (男子) 1回戦 2-0:長野吉田  
 2回戦 0-2:諏訪青陵  
 ベスト16

(女子)  
 1回戦 2-0 松本県ケ丘  
 2回戦 0-2 岡谷東 ベスト16  
 <R5 県IH>  
 (男子) 1回戦 0-2 長野東  
 (女子) 1回戦 2-0 須坂創成  
 2回戦 0-2 東海大諏訪

●卓球  
 <R4県新人>  
 (男子) 個人 土屋泰蔵(1回戦)  
 (女子) 団体 0-3:長野商業  
 個人 小金沢真央(2回戦)  
 <R4県ジュニア>  
 (女子) 個人 小金沢真央 ベスト16

<R5 東信総体>  
 (男子) 団体 3位  
 (女子) 個人 小金沢真央(優勝)  
 <R5 県総体>  
 (女子) 個人 小金沢真央 ベスト16  
 決定戦を経て北信越大会出場

<R5 東信新人>  
 (女子) 団体 優勝  
 ダブルス  
 小金沢真央・井出天晴 優勝  
 新海 奏・美濃七星 3位  
 個人 小金沢真央 優勝  
 新海 奏 2位  
 井出天晴 3位

<R5 県新人>  
 (女子) 団体 ベスト8  
 1回戦 野北3-0 屋代  
 2回戦 野北3-0 松本国際  
 3回戦 野北0-3 中野西  
 個人 小金沢真央 ベスト16

●バドミントン  
 <R4県新人>  
 (男子) 団体 2-3:大町岳陽  
 シングルス 篠原汐翔(2回戦)

●弓道  
 <R4東信秋期>  
 (男子) 団体 優勝  
 <R4県新人>  
 (男子) 団体 A・B(予選)  
 個人 関勇人 6位(北信越へ)  
 (女子) 個人 水上茉夕(予選)

●水泳  
 <R4県新人>  
 (男子)  
 枝川和樹 バタフライ100m(7位)  
 枝川和樹 バタフライ 50m(7位)

(女子)  
 高柳愛佳 背泳ぎ 200m(2位)  
 高柳愛佳 背泳ぎ 100m(4位)  
 高柳愛佳 背泳ぎ 50m(5位)  
 <R5 東信IH大会>  
 女子総合1位  
 <県IH>  
 (男子)  
 200mバタフライ  
 枝川和樹 8位(北信越へ)  
 (女子)  
 100m背泳ぎ  
 高柳愛佳 4位(北信越へ)  
 200m背泳ぎ  
 高柳愛佳 2位(北信越へ)

<県新人>  
 (女子)  
 佐藤美緒 50m平泳ぎ 8位

●サッカー  
 <R4 県選手権>  
 1回戦 2-1:須坂東  
 2回戦 1-0:志学館  
 3回戦 0-1:上田 ベスト32

●空手(個人)  
 <R5 県IH>  
 (男子) 型 柳澤琉清 5位  
 (北信越へ)  
 (女子) 組手 前所海羽 準優勝  
 (北海道IHへ)

<R5 北信越IH>  
 (男子) 型 柳澤琉清 1回戦  
 (女子) 組手 前所海羽 1回戦

## 学芸班

●棋道  
 <R5 県高校選手権>  
 (男子)  
 団体 野北B 準優勝  
 個人 B級 内藤晴仁 優勝

●英語  
 <県英語レシテーションコンテスト>  
 小林桃華 優勝  
 道木菜摘 準決勝進出  
 <イングリッシュキャンプ>  
 オンライン開催  
 <台湾高校生との交流会>  
 年4回開催

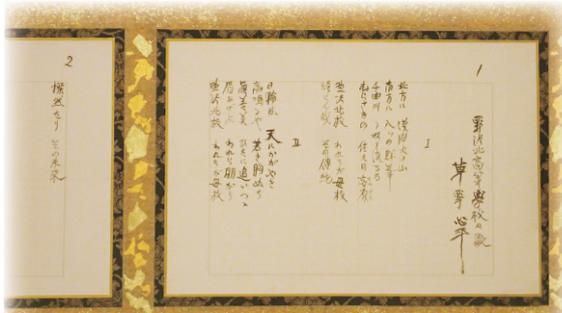
●吹奏楽  
 <県吹奏楽コンクール>  
 B編成の部  
 東北信大会 金賞(1位)  
 県大会 銀賞

●軽音楽  
 <第30回県高等学校軽音楽系  
 クラブ合同演奏会東北信大会  
 Power Live 2023 TH>  
 特別賞(ベスト8)  
 [White hole]

(3年:岩崎・湯本  
 2年:阿部・柳沢・細谷)  
 特別賞(ベスト8)  
 [ぱびこ85]  
 (2年:乗附・篠原・花岡・阿部)  
 以上2バンド県大会へ進出  
 <県合同演奏会  
 Power Live 2023 K>  
 (ベスト16)  
 3年:岩崎・湯本  
 2年:阿部・柳沢・細谷

●音楽  
 <県合唱大会 兼  
 NHK音楽コンクール>  
 優秀賞

●演劇班  
 <佐久のハーモニー演劇祭>  
 出場 2022年12月  
 <東信高校演劇連盟  
 春季発表会>  
 出場 2023年3月  
 <第40回東信高校演劇  
 連盟合同発表会>  
 出場 2023年9月



副会長の田原先輩から、ド  
 ローンの航空写真をいただきま  
 した。校歌の一節そのままです。  
 また「ニュース」を読んで、  
 母校の「伝統・未来」にも思い  
 を馳せていただけたらと思っ  
 ております。  
 岳南会館には、校歌の手書き  
 原稿(詞・草野心平)が展示し  
 てあります。お訪ねください。

春4月、現  
 役生の歌う校  
 歌が体育館に  
 響きました。  
 応援練習で、  
 魂に染み込ま  
 せた調べです。

